

岩手県立胆沢病院看護科研修計画

| 区分 | 対象 | 到達目標 | 研修内容 | 方法 |
|-------|--|---|---|--|
| レベル研修 | レベルⅠ (新卒採用看護師研修) (既卒新人は習熟度により受講) | 担当看護師としての能力を身につける 1. 助言を得てケアの受け手の状況(場)のニーズをとらえる 2. 助言を得ながら、安全な看護を実施する 3. 関係者と情報共有ができる 4. ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 5. 社会人・組織人としての自覚を持ち、看護職者として責任ある行動ができる 6. 看護に必要な知識について、主体的に学習できる | 主体的自己学習の展開 ・新人基礎研修3日間 ・シャドウイング研修 6日間 ＊その他クリニカルラダーレベルⅠ 統一研修含む ・各部署新人育成会議のフィードバック ・緩和ケア研修 ・エンゼルケア ・医療安全研修 ・標準看護計画・看護過程 ・多重課題研修 ・技術研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 看護実践における基本的知識・技術の習得 看護職員としての必要な基本姿勢と態度の習得 管理(安全・災害・防災・情報) | シャドウイング・OJTによる育成(各看護単位) 師長・補佐・主任によるフォローアップ・サポート 知識・技術面における到達目標評価(自他者評価) 集合研修(研修後アンケート実施・評価) 新採用者技術研修Ⅰ(基本的看護技術等) 新採用者技術研修Ⅱ(皮膚創傷ケア)(摂食・嚥下) 新採用者技術研修Ⅲ(呼吸循環を整える技術) オリエンテーション(新人看護師・病院・看護科) 自己紹介、クリニカルラダー、チェックリストの活用 災害時の初期対応 |
| | レベルⅠ (卒後2年目) | | 事例(課題)実践レポート | 受け持ち患者の看護を通して課題に取り組みレポートとしてまとめ、発表 |
| | レベルⅡ | 担当看護師として自立し受け持ち看護師を目指す 1. ケアの受け手や状況(場)のニーズを自ら捉えることができる 2. ケアの受け手や状況(場)に応じた看護実践ができる 3. 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる 4. ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる 5. 担当看護師としての役割発揮ができる 6. チームの目標達成のためにメンバーとしての役割を遂行できる 7. 自己学習課題を明確にし、取り組むことができる | 1. 事例検討 ・患者の状況を判断した意図的な情報収集・アセスメント ・適切な看護計画 ・看護計画に基づいた看護実践 ・看護実践について妥当性を評価 ・看護理論を学び、日々の看護実践の根拠として活用する 2. 事例検討の基礎を学ぶ ・事例検討の必要性を理解する 3. 自己学習 | 集合研修: 導入講義「事例検討について」 事例検討計画書の提出 受け持ち患者の看護過程の展開を実践進行状況の確認 事例検討発表: ケースレポートとしてまとめ発表する ・ラーニング ・基礎修得コース |
| | レベルⅢ | 受け持ち看護師として自立し役割モデルを目指す 1. ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえたニーズを捉えることができる 2. ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえた看護実践ができる 3. ケアの受け手や関係者、他職種と連携ができる 4. ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる 5. 受け持ち看護師としての役割ができる 6. チームリーダーやコーディネーターとしての役割ができる 7. 後輩や学生に根拠に基づいた指導ができる | 【看護研究計画書作成】 看護研究の基本を学び、看護研究計画書を作成し発表する 【受け持ち患者の個別的な看護過程の展開】 1. 意思決定支援を中心にACPの基礎知識を学ぶ 2. 事例を通して看護実践に繋げる | 導入講義 研究計画書中間提出・査読支援 研究計画書完成・提出 研究計画書の発表 ・ラーニング ・看護研究コース 集合研修: 導入講義 「看護倫理・意思決定支援を中心に事例から学ぶ」 講師: 佐々木寛子 |
| | レベルⅣ | 部署において看護の立場でリーダーシップを発揮できる 1. ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえられる 2. さまざまな技術を選択・応用し看護を実践する 3. ケアの受け手を取り巻く多職種力を調整し連携できる 4. ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる5. メンバー・学生に教育的関わりができる | 【幅広い視野で予測的判断をもった看護展開の実践】 ①看護実践計画書作成 ・予測的判断に基づいた看護を提供できるよう実践計画立案する ・予測的な判断のもと全人的に情報収集し、統合したニーズを把握できるよう立案する ・適切なケアを選択し、予測的・予防的視点で看護実践できるよう立案する ・結果を予測しながら主体的に多職種連携し、調整等できるよう立案する ・患者や周囲の人々の意思決定プロセスに参加し、適切な看護ケアができるよう立案する ②看護実践 ・看護スタッフに看護実践計画の内容を共有し、協力を得ながら実践する | 集合研修: 導入講義 「部署において看護の立場でリーダーシップを発揮するために」講師: 及川聡美 計画書の提出 看護の実践 原稿提出 発表 研修前後のアンケート ・看護師長代行研修(OJT) |
| レベルⅤ | 医療のチームにおいて看護の立場でリーダーシップを発揮できる 1. ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる 2. 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する 3. ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種力を引き出し連携に活かす 4. 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる 5. 組織の安全文化を培い向上させる役割ができる 6. 看護の質保証にむけ管理的思考と行動ができる | 【より複雑な状況にある患者のニーズに対して多職種と連携しリーダーシップを発揮して看護を実践する】 ①看護実践計画書作成 ・最適なケア選択により、QOLを高められるよう実践計画を立案する ・より複雑な患者ニーズや価値観に応じた情報収集にもとづいて立案する ・あらゆる知見を動員し、最適な看護が選択できるよう立案する ・自立的及び積極的に多職種連携に関わり、調整を含めた中心的な役割発揮について立案する ・資源活用し、多方面で患者を擁護できるよう意思決定プロセスに積極的に支援できるよう立案する ②看護実践 ・看護スタッフに看護実践計画の内容を共有し、協力を得ながら実践する | 集合研修: 導入講義 「医療のチームにおいて看護の立場でリーダーシップを発揮するために」講師: 及川聡美 計画書の提出 看護の実践 原稿提出 発表 研修前後のアンケート ・看護師長代行研修(OJT) | |

岩手県立胆沢病院看護科研修計画

| 区分 | 対象 | 到達目標 | 研修内容 | 方法 |
|-----------------------------------|---|--|---|---|
| 管理者研修 | 主任看護師 看護師長補佐 | 主任看護師 ・自部署の活動方針に基づいて、適切な看護サービスが提供できるよう看護師等及び看護補助者の実践モデルとなることができ ・看護師長・看護師長補佐を補佐し、不在の場合は苑職務を代行することができる | 【主任看護師会活動】 ・働きやすい職場環境整備(ハラスメント・メンタルヘルス) 【新任主任研修】 1. 看護基準の読み合わせ(役割把握) 2. 看護師長代行 | 【主任看護師会・管理研修】 ・集合研修(取組説明・成果報告会) ・e-ラーニング 看護管理コース 【新任主任研修】OJT研修 |
| | 看護師長補佐 | 看護師長補佐 ・看護師長を補佐し自部署の活動方針を看護師長等及び看護補助者が理解し実践できるように支援・指導できる ・看護師長が不在の場合はその職務を代理することができる | 【看護師長補佐会活動】)自部署の課題解決に向けての取り組み 【新任看護師長補佐研修】 1. 勤務表作成・変更 2. 看護師長代行 3. 看護基準の読み合わせ(役割把握) | 【看護師長補佐会・管理研修】 ・集合研修(取組説明・成果報告会) ・e-ラーニング 看護管理コース 【新任看護師長補佐研修】OJT研修 |
| | 看護師長 副総看護師長 総看護師長 | 看護師長 ・自部署の管理責任者として活動方針を明確にし、患者に適切な看護サービスが提供できるよう指導・監督にあたること 副総看護師長 ・総看護師長を補佐し、看護業務全般の指導・監督にあたること ・総看護師長等不在の場合はその職務を代理することができる 総看護師長 ・管理者として病院の管理・運営に参画することができる ・看護科の最高責任者として看護科の理念・方針を明確にし、看護職員的能力を効果的に発揮させ、適切な看護サービスが提供できるよう看護業務の総括、指揮・監督にあたること | 【看護師長会活動】 ・医療の動向をとらえ積極的に経営に参画 ・管理業務のデータ管理と効率化の推進 ・タスクシフト/シェア推進 ・人材育成/支援体制の強化 ・看護師長勉強会(毎月第4月曜日補佐と合同で実施) | 【看護師長会・管理研修】 ・集合研修 ・伝達講習(院外研修等から) ・e-ラーニング 看護管理コース 【新人看護師長研修】 シャドウイング研修 |
| レベルⅣ、Ⅴ認定者 | 看護管理過程に必要な知識を習得し、担当部署の運営に役立てる | 【看護師長代行業務】 1. 代行業務基準、読み合わせ 2. 代行業務シャドウイング 3. 休日の代行業務 | 【看護師長代行研修】 OJT・シャドウイング研修 | |
| 専門研修 | 総看護師長講話 | 胆沢病院看護科の理念・目標が理解できる | 理念・目標を学び理解する | ・講義 集合研修 講師 総看護師長 |
| | 静脈注射研修 | I: 静脈注射に必要な知識を備え、基本的実践能力を備える II: 安全な静脈注射、輸液療法全般の実施及び指導ができる | 静脈注射教育プログラムに準ずる | 講義・演習等 |
| | レスピレータ装着患者の看護研修 | レスピレータ装着患者の特徴的な看護を学び、実践する | レスピレータ装着患者の口腔ケア、清拭、体位変換、チューブ固定を救急看護認定看護師と行う レスピレータ装着患者の観察項目を学ぶ | 清拭、体位変換、チューブ固定等を行い、ケアの方法や注意点を学ぶ |
| | 部署外交流研修 | 【救急看護】 ・指導者と共に救急外来看護ケアができる ・トリアージが適切にできる 【部署看護】 ・指導者と共に各部署の看護ケアができる ・各部署の特徴が理解できる | 自部署で経験できない看護を学ぶ | ・各部署OJT |
| 看護補助者研修 | 看護職との協働について理解し看護補助者として必要な知識と技術を習得する (新採用看護補助者) 1. 入職時に職務規定について理解し、業務に従事できる 2. 安全を考慮して看護業務にあたり事故発生時の対処ができる 3. 感染面に留意した日常業務が出来る 4. 皮膚・創傷ケアの知識を得て看護師の指示のもと褥瘡予防ができる 6. 胆沢病院看護科の組織を理解し日常業務にあたる事ができる 7. 看護補助者記載部分の電子カルテの操作が出来る (現任看護補助者) 1. 胆沢病院看護科の組織を理解し日常業務に従事することができる 2. 安全、感染に留意した日常業務ができる 3. 看護補助者業務を遂行するための基礎的知識と技術を習得できる 4. 看護補助者として自立し、役割モデルとなる | サービス規定について学ぶ 医療安全について学ぶ 感染について学ぶ 皮膚・創傷ケアを学ぶ 胆沢病院看護科組織について学ぶ 電子カルテの操作を学ぶ 看護補助者の適切な業務を習得できる | 講義 サービス規定 医療安全 感染対策 電子カルテ 実技 e-ラーニング ・医療制度の概要及び病院機能と組織の理解 ・チームの一員としての看護補助者業務の理解 ・倫理の基本 ・接遇、マナーの基本 ・日常生活にかかる業務(環境整備、清拭、排泄、食事、洗面、移動、診療介助) ・守秘義務、個人情報保護の基礎知識 ・医療安全 ・感染防止 感染予防研修会等 | |
| 中途任用者 リエンテ 長期休業 復職者 オ | 1 入職時に職務規定について理解し、業務に従事できる 2. 安全を考慮して看護業務にあたり事故発生時の対処ができる 3. 感染面に留意した日常業務ができる 4. 輸液ポンプ・シリンジポンプが安全に操作できる 5. 皮膚・創傷ケアの知識を得て看護実践に活かす事ができる 6. 胆沢病院看護科の組織を理解し日常業務にあたる事ができる 7. 電子カルテの操作が出来る | サービス規定について学ぶ 医療安全について学ぶ 感染について学ぶ 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作を学ぶ 皮膚・創傷ケアを学ぶ 胆沢病院看護科組織について学ぶ 電子カルテの操作を学ぶ | 講義等 (講師) サービス規定 医療安全 感染対策 輸液ポンプ・シリンジポンプ 皮膚・創傷ケア 電子カルテ | |